

JO NAPOT! ヨー・ナポト! No. 56

Gifu - Hungary Friendship Association

Minokamo-city, Ota-cho 3431-1, 505-0041

TEL : 0574-28-1600 FAX : 0574-25-3917

HP: <http://www.gifu-hungary-fa.com/index.html>

2013. 11発行

霜月に入り、ようやく秋が深まり始めました。今年は、台風が多く発生し伊豆大島などで大きな被害を受けました。被災された方々に、お見舞い申し上げます。

1. マスターコース 実績を上げ終了（8月2日～11日）

8月2日から始まった「ぎふ・リスト音楽院マスターコース」は、11日までに全日程を済ませて閉幕しました。

今年のマスターコースは、コンサートを8月2日高山市国府町のこくふ交流センター・さくらホール、8月4日岐阜市のサラマンカホールの2会場で開催しました。この内、こくふ交流センター・さくらホールでは、約370人の観客

があり、本格的な演奏を楽しむ姿が見られました。コンサート後のアンケートでも評価の高い声が寄せられました。また、サラマンカホールのコンサートでは、

（マスターコンサート リハーサルの様子）

約340人の観客を迎え、熱の入った演奏が披露されました。

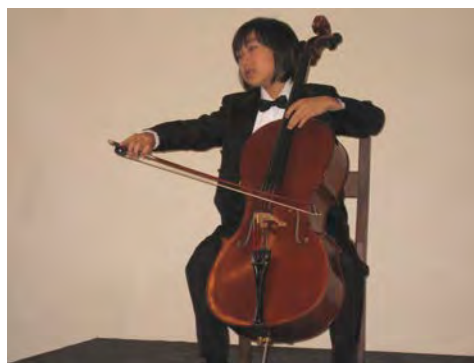


翌5日から10日まではレッスンが始まり、サラマンカホール・ピアノ、岐阜県図書館（5日のみグランベール岐山）・ヴァイオリン、クララザール・チェロに分かれて行われました。今夏のマスターコースでは、小学校5年生のチェリストがフルタイムでレッスンを受け、オンツァイ教授から「秋にハンガリーで開催される国際ポッパーチェロコンクールに出場しては」と誘いを受け、大きな話題となりました。

一方、最終日となる11日には留学選考会が開催され、ピアニスト3名、ヴァイオリニスト3名、チェリスト1名の7名の合格者が現れました。マスターコース事業は、着実に実績を上げています。

2. 岐阜市の少年チェリスト、国際チェロコンクールで優勝

前述のマスターコース、チェロ部門の受講生である清水陽介くん（岐阜市華陽小学校5年生10歳）は、オンツァイ教授の薦めから9月16日からハンガリー、ヴァールパロータ市ツリーバール祝祭ホールで開催された「第5回国際ポッパージェロコンクール」に出場しました。



（ガラコンサートで演奏する清水くん）

国際ポッパージェロコンクールは、チェロのヴィルトーゾ（巨匠）と言われたダヴィッド・ポッパが長クリスト音楽院で教鞭をとったことから、ハンガリーで15年前から始まり3年に1度のトリエンナーレとして開催されています。



（オンツァイ教授と記念撮影する清水くん）

特に今年は、ポッパ没後100周年記念でもあり、世界の音楽関係者から関心を集めていました。各国から送られてきた出場希望者の書類選考後に、14カ国40人のチェリスト達が集まり熱演を繰り広げました。この中で、清水くんは、第2部ジュニア部門で優勝を果たし、金メダルと賞状を受けました。

各部門の入賞者が集まったガラコンサートを聴きますと、確かに清水くんはまだ10歳の少年ながら自分自身のポッパを全身で表現していて、優勝を理解させてくれる演奏内容でした。この音楽スタイルは、審査員だけでなく観客までの評価を得たと感じました。

清水くんは、3歳の頃 お兄さんの晋太朗くんとヴァイオリン教室に通う内にチェロが好きになり、名古屋まで通ってレッスンを受けていました。去年から、岐阜県の音楽事業「ぎふ・リスト音楽院マスターコース」を続けて受講したところ、リスト音楽院のオンツァイ教授のレッスンにも馴染み、周囲が眼を見張るような演奏をするようになっていました。清水くんの出現は、マスターコースに新しい1ページを開くことになりそうです。

3. 正眼寺 山川宗玄老師のハンガリー訪問、大きな足跡を残す

(9月8日～11日)

9月8日から11日まで、正眼寺の山川宗玄老師がスイス・チューリッヒ道場での接心(修行)後、ハンガリーに立ち寄られました。当協会では、老師一行のハンガリー訪問計画を立て、交流の深いコーシャ氏やリスト音楽院教授達との出会いの他、ブダペスト商科大学での講演会、そしてハンガリーカトリック最高指導者との会談を実施しました。

講演会は、ヨーロッパで禅について関心が高いことから当初から計画していたものです。

また、カトリック最高指導者との会談は、東西霊性交流としてカトリックと禅宗との交流が30年以上に渡って続いていることから新たに計画したものです。

講演会は、会場となったブダペスト商科大学の学生の他、一般市民や知識人と思われる人達でほぼ満席の状態となり、通訳を通じて山川老師の話を熱心に聞いていました。



(正眼寺 山川老師による講演の様子)

山川老師は、禅についての話の中で「體露金風」という禅語を自分自身の体験からわかりやすく説明され、聴衆の関心を集めていました。ヨーロッパでは、今年のパリオートクチュール秋冬コレクションでも龍安寺の石庭モチーフにした新作が発表され、大きな喚声を得るなど禅への関心が変わらずに高いようです。

ハンガリーカトリックの最高指導者との会談では、会場となったコーシャ氏の私邸にネメッシュ・ペーター司祭と山川老師が招かれ、お互いの宗教事情など気さくに話し合われました。



(山川老師とネメッシュ・ペーター司祭)

会談は、お互いに敬う気持ちで話が進み、禅語の「和敬静寂」という言葉のごとく時間が過ぎていきました。

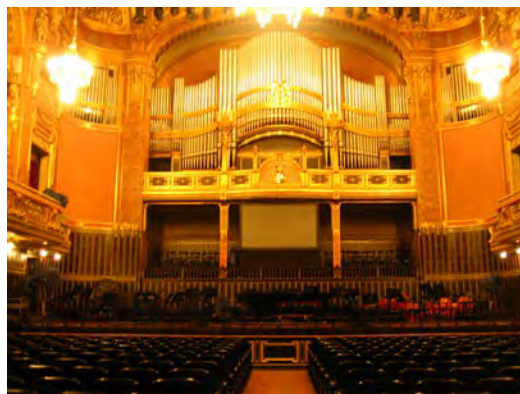
今回の山川老師のハンガリー訪問は、親しい友人との再会だけでなく、禅の講演会とハンガリーカトリックとの会談ということにおいて、日本とハンガリーの文化交流に大きな足跡を残したといえます。今後の交流に反映させたいと考えています。

4. リスト音楽院修復工事終了、蘇る音楽の殿堂（9月22日）

5年前から修復工事に入っていたリスト音楽院本校は、ようやく工事が終わり、9月22日にグランドオープンガラが開催され、1000人以上の招待客でにぎわいました。

グランドオープンガラには、山田会長と役員が招待を受けました。外観は、黒ずんだ埃がすべて落とされ、ドアなど隅々の傷みまでもが修理されました。

なかでも大ホールはすべてが元どおりに修復され、完成時の姿が蘇りました。



（リフレッシュした大ホール）

この日、19時からガラコンサートが行われました。ファンファーレ、ハンガリー国歌の斉唱に続き、リスト音楽院交響楽団によるブラームスのハンガリー舞曲第5番で幕開けでした。民俗曲、バルトーク、バッハ、リスト、ドホナーニ、ベートーヴェンとつぎつぎと披露されました。



（美くなったリスト音楽院）

演奏者は、ピアノのガボール・ファルカス、ヴァイオリンのカタリン・コカス、チェロのジャジェリ・デヴィチら今を時めく音楽家が登場し、それぞれに奏でる音は会場いっぱいに響き渡りどれも生き活きとして輝くように感じられました。



（ガラコンサートの様子）

これまで以上の最高のコンサートでした。大ホールは、この後、1年半後まで著名アーティストのコンサートで埋まっているということです。

5. リスト音楽院の新院長にヴィグ・アンドレアさん就任（11月1日）



（右：山田会長、中央：バツタコミッショナー、左：ヴィグ新院長）

当協会が、3年前に招いたハーピスト、ヴィグ・アンドレアさんが、11月1日にリスト音楽院の新しい院長に着任されました。それまで院長だったバツタ・アンドラーシュ氏は、政府の音楽コミッショナーとして更に活躍の場を広げられます。

ヴィグ新院長は、1996年からリスト音楽院の教授を務め、1999年から、エリザベート女王の別荘であったグドウル宮殿で国際ハーブ音楽祭を始められました。また、2000年には、ハンガリー政府から芸術家に贈られる最高のリスト賞を受賞されています。

2009年春にヴィグさんの演奏を聴いた役員が、この音を岐阜県の音楽ファンたちにも聴いていただきたいと考え、2010年春にオンツァイ教授との共演者として招聘しました。この時、名古屋市、岐阜市、高山市でコンサートを開催し、各地で高い評価を得ました。またヴィグさんは、各地で満開の桜を見ることができ、忘れられない思い出になったといいます。ヴィグ新院長は、10月21日にブダペストのリスト音楽院新校舎を訪問した山田会長と会談に臨み、「岐阜との交流は大切なことと思っている」と話され、今後も強い交流を続けていくことを約束してくださいました。

6. 東濃支部活動始まる（2013年4月～）

今年の4月に再出発した岐阜県ハンガリー友好協会東濃支部は、10月27日多治見市のまなびパークたじみで、「文化講演会&コンサート」と題して、陶芸家 加藤幸兵衛氏と(株)セラメッセ社長 水野雅樹氏のトークショー、リスト音楽院修了生のヴァイオリニスト加藤菜津子さんとピアニスト千葉博美さんのデュオコンサート、そして陶都楽友会長でソプラノ歌手 斎藤順子さんと楽友会員でピアニストの服部加奈さんのコンサートを開催しました。

文化講演では、「ハンガリーの街並みとタイル」をテーマに、2009年に訪問したブダペストの建築物に見られるジョルナイタイル様式の街並みについて話し合われました。加藤氏は、陶芸家として大家であり多治見市無形文化財保持者となりました。また水野氏は、笠原町でタイル製造に尽力している経営者です。二人の話は、焼き物とタイルを活かした街づくりに話題が集まり活発な意見交換が行われました。第2部のコンサートでは、加藤さんと千葉さんの演奏でバルトークなどハンガリーの曲と日本の名曲が披露されました。また、斎藤さんのソプラノ独奏と服部さんのピアノ独奏が披露されました。このトークショー&コンサートには、友好協会の役員達も出席し楽しい会だったと話していました。今後も支部の活躍を期待します。

7. 総会開催

20回目の総会を12月に開催する予定です。日程等詳細については、追ってご連絡させていただきます。各位の参加を心よりお待ちしております。